



## はじめに

---

この前書きは、次の項で構成されています。

- [対象読者](#) (i ページ)
- [新機能および変更された機能に関する情報](#) (i ページ)
- [表記法](#) (xvi ページ)
- [関連資料](#) (xviii ページ)
- [マニュアルに関するフィードバック](#) (xix ページ)

## 対象読者

このガイドは、次の1つ以上に責任を持つ、専門知識を備えたデータセンター管理者を主な対象にしています。

- 仮想マシンのインストールと管理
- サーバ管理
- スイッチおよびネットワークの管理

## 新機能および変更された機能に関する情報

次の表は、現行リリースに至るまでにガイドの編成と特徴に加えられた主な変更点の概要を示しています。ただし、今リリースまでのガイドにおける変更点や新機能の一部は表に記載されていません。

表 1: Cisco APIC Release 3.2(1)の新機能と変更された動作

機能または変更	説明	参照先
孤立したポートのサポート	vPC ドメインで、リモートリーフスイッチの孤立したポートチャネルまたは物理ポートに対するサポートが利用できるようになりました。	次の章を参照してください: <a href="#">リモートリーフスイッチ</a>
L3Outs のための QoS の章	L3Outs のための QoS は、個別の章に移動されました。	次の章を参照してください: <a href="#">L3Outs の QoS</a>
レイヤ 3 ルーティングとサブインターフェイスポートチャネル	レイヤ 3 ポートチャネルへのサポートが追加されました。	次の項を参照してください。 <a href="#">レイヤ 3 ルーティング</a> および <a href="#">サブインターフェイスポートチャネル</a>
リモートのリーフスイッチの強化	新しい機能とオプションがサポートされました。	次の章を参照してください: <a href="#">リモートリーフスイッチ</a>
トランジットルーティングの強化	APIC GUI、NX-OS スタイル CLI、または REST API を使用してトランジットルーティングを構成する方法についての情報が追加されました。	次の章を参照してください: <a href="#">トランジットルーティング</a>

表 2: Cisco APIC Release 2.2(4)の新機能と変更された動作

機能または変更	説明	参照先
ネイバー探索重複アドレス検出 (DAD)	ネイバー探索重複アドレス検出 (DAD) を無効にするためのサポートが追加されました。	次の章を参照してください: <a href="#">IPv6 ネイバー探索</a>

表 3: Cisco APIC Release 3.1(2m)の新機能と変更された動作

機能または変更	説明	参照先
L3Outs のための QoS	このリリースでは、L3Out 入力トラフィックでの QoS ポリシーの適用が強化されました。	<a href="#">L3Outs の QoS</a> を参照してください。

機能または変更	説明	参照先
最大 MTU の増加	9216 までの外部ネットワークと通信するために使用される MTU の設定を有効にするために、最大 MTU が 9000 から 9216 バイトに増加されました。	次の章を参照してください: <a href="#">外部ネットワークへのルーテッド接続</a>
Out レイヤ 3 でネイバー探索ルータ アドバタイズメント	RS/RA パケットは、自動設定は使用されは、ルーテッドインターフェイス、レイヤ 3 サブインターフェイス、SVI などのレイヤ 3 インターフェイスで設定できます。	次の章を参照してください: <a href="#">IPv6 ネイバー探索</a>
BGP 外部ルーテッドネットワークと自律システムのオーバーライド	AS オーバーライド機能が、アウトバウンドルート of AS パスで送信 BGP ルータの AS 番号を持つ発信元ルータからの AS 番号を置き換えます。	次の章を参照してください: <a href="#">ルーティングプロトコル サポート</a>

表 4: Cisco APIC Release 3.1(1i) の新機能と変更された動作

機能または変更	説明	参照先
FEX でのレイヤ 3 マルチキャストのサポート	FEX ポートに接続されているマルチキャストの送信元または受信先がサポートされています。	次の章を参照してください: <a href="#">IP Multicast : IP マルチキャスト</a>
スイッチ仮想インターフェイス (SVI) 自動状態	SVI 自動状態操作を有効にできます。これにより、VLAN 内のすべてのポートがダウンすると SVI 状態をダウン状態にできます。  この機能は、APIC リリース 2.2(3x) リリースおよび APIC リリース 3.1 (1) で使用できます。APIC リリース 3.0(x) ではサポートされていません。	次の章を参照してください: <a href="#">スイッチ仮想インターフェイス</a>

機能または変更	説明	参照先
リモート リーフ スイッチ	ACI ファブリックを導入すると、ACI サービスと APIC 管理を、ローカル スパイン スイッチ または APIC が接続されていない Cisco ACI リーフ スイッチのある リモート データ センター に拡張できます。	次の章を参照してください: <a href="#">リモート リーフ スイッチ</a>
Multipod での新しいハードウェア サポート	マルチポッドおよび GOLF は、すべての Cisco Nexus 9300 プラットフォーム ACI モード スイッチと、Cisco Nexus 9500 プラットフォーム ACI モード スイッチ ライン カード と ファブリック モジュール により サポート されています。Cisco APIC、リリース 3.1(x) 以降では、これに N9K-C9364C スイッチ も含まれます。	<a href="#">Cisco ACI GOLF</a> と 「 <a href="#">マルチポッド</a> 」 の章を参照してください。
Multi-Site サイト間の共有 GOLF 接続を使用する	拡大 Vrf ゴルフ接続を共有する場合、複数のサイト トポロジでは、APIC サイトの VRF 間のトラフィックの問題を回避するガイドラインが追加されました。	次の章を参照してください: <a href="#">Cisco ACI GOLF</a>
スパイン スイッチの BFD サポート	スパイン スイッチ 上で Bidirectional Forwarding Detection (BFD) のサポートが追加されます。	次の章を参照してください: <a href="#">ルーティング プロトコル サポート</a>
L3Out 構成の新しい例	新しい GUI、NX-OS スタイル CLI、および REST API の例は、明確で一貫したものになりました。	次の章を参照してください: <a href="#">外部ネットワークへのルーテッド接続</a>
トランジット ルーティングの設定	ナレッジ ベースの記事、「 <a href="#">Cisco APIC と トランジット ルーティング</a> 」がこのガイドに組み込まれました。APIC GUI、NX-OS スタイル CLI、および REST API の新しい構成例が含まれています。	次の章を参照してください: <a href="#">トランジット ルーティング</a>

機能または変更	説明	参照先
再編成された章	<p>このガイドの章は、より論理的な順番になるように再編成されました。次の章名が変更されています:</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「テナント外部のネットワーク」が「外部ネットワークへのルーティング接続」に</li> <li>「ルートプロファイル、ルートマップ、およびIPプレフィックスリスト」が「ルート制御」に</li> <li>「共有レイヤ3外部接続」が「共有サービス」に</li> <li>「SVI外部カプセル化スコープ」が「スイッチ仮想インターフェイス」に</li> </ul>	--

表 5: Cisco APIC Release 3.0(2h) の新機能と変更された動作

機能または変更	説明	参照先
BD のスタティック ルート :	<p>パーベイシブブリッジドメイン (BD) からファイアウォールの背後にある仮想サービスへのルートを有効にする、スタティック ルートの構成へのサポートが追加されました。</p> <p>この機能は、通常の EPG を使用して、パーベイシブ BD には直接接続されていないサブネットやホストへのエンドポイント (EP) の到達可能性を有効にします。</p>	次の章を参照してください: <a href="#">スタティックルートブリッジドメイン</a>

注: APIC Release 2.2(3x) の機能は、この特定のリリースでのみ使用可能です。APIC Release 3.0(x) または 3.1(x) ではサポートされていません。

表 6: Cisco APIC Release 2.2(3x)に関連した Cisco APICの新機能と変更された動作

機能または変更	説明	参照先
スイッチ仮想インターフェイス (SVI) 自動状態	<p>SVI 自動状態操作を有効にできます。これにより、VLAN 内のすべてのポートがダウンすると、SVI 状態もダウン状態になります。</p> <p>(注) この機能は APIC Release 2.2(3x) リリースで利用可能です。APIC Release 3.0(x) ではサポートされていません。</p>	次の章を参照してください: <a href="#">スイッチ仮想インターフェイス</a>

表 7: Cisco APIC Release 3.0(1k)に関連した Cisco APICの新機能と変更された動作

機能または変更	説明	参照先
AS パスのプリペンド	リモートピアによる最適なパス選択の呼び出しのため、BGP ルートの自律システムパスの長さを変更できます	次の章を参照してください: <a href="#">ルーティングプロトコルサポート</a>
BGP 最大パス	等コストマルチパスロードバランシングを呼び出すために、BGP がルートテーブルに追加するパスの最大数を構成できるようになりました。	次の章を参照してください: <a href="#">ルーティングプロトコルサポート</a>

表 8: Cisco APIC Release 2.3(1e)に関連した Cisco APICの新機能と変更された動作

機能または変更	説明	参照先
レイヤ 3 外部ネットワーク経由での SVI のカプセル化の範囲	このリリースでは、レイヤ 3 ネットワーク経由での SVI のカプセル化の範囲を構成できます。	次の章を参照してください: <a href="#">スイッチ仮想インターフェイス</a>
Deny プレフィックスのサポート	特定のルートのコンテキストルールを拒否することがサポートされるようになりました。	次の章を参照してください: <a href="#">ルート制御</a>

表 9: Cisco APIC Release 2.2(2e) および 2.2(2f) に関連した Cisco APIC の新機能と変更された動作

機能または変更	説明	参照先
ノード BGP タイマー値ごとの各 VRF	このリリースでは、ノードあたりの各 VRF で BPG タイマーを定義および関連付けることができます。	次の章を参照してください: <a href="#">ルーティング プロトコル サポート</a>
レイヤ 3 をインター VRF 漏出 Out Out 3 をレイヤします。	このリリースでは、異なる Vrf に、共有のレイヤ 3 が記録されるコントラクトを使用して相互に通信できます。	次の章を参照してください: <a href="#">共有サービス</a>
ルートプレフィックスごとに割り当てられた複数の BGP コミュニティ	このリリースでは、複数の BGP コミュニティは、ルートプレフィックスの BGP プロトコルを使用してごここ割り当てられます。	See chapter <a href="#">外部ネットワークへのルーテッド接続 and ルート制御</a>
EIGRP から BGP へのトランジットルーティングが利用可能になりました。	サポートトランジットコンビネーションマトリクスでのサポートが追加されました。	次の章を参照してください: <a href="#">トランジットルーティング</a>
異なる VRF の共有 L3Outs 間の通信	範囲とサブネットの集約コントロールでのステートメントへのサポートが追加されました。	次の章を参照してください: <a href="#">トランジットルーティング</a>

表 10: このドキュメントの新機能と変更された情報

機能または変更	説明	参照先
ドキュメントの再編成	<p>このガイドのトピックは、『Cisco APIC ベーシック コンフィギュレーションガイドリリース 2.x』、『Cisco ACI および Cisco ACI でのレイヤ 3 マルチキャスト』、および次の知識ベースの記事から取られています:</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• Cisco APIC と外部ルート の <i>Interleak</i></li> <li>• Cisco APIC と明示的なプレフィックスリストを使用するルートマップ</li> <li>• Cisco APIC の IP エージングポリシー</li> <li>• テナント ネットワークのための <i>Cisco APIC Layer 3 Outside</i></li> <li>• Cisco APIC テナント、VRF、および IPv6 ネイバー探索でのブリッジドメインの作成</li> <li>• Cisco APIC と共通パベイシブ ゲートウェイ</li> <li>• Cisco APIC と HSRP</li> <li>• Cisco APIC と IGMP スヌープ レイヤ 2 マルチキャスト構成</li> <li>• Cisco APIC とインポートおよびエクスポート制御を使用するルート制御プロトコル</li> <li>• Cisco APIC と BGP 外部ルーティング ネットワークと BFD</li> <li>• Cisco APIC と EIGRP</li> </ul>	Cisco APIC レイヤ 3 構成ガイド (本書)



機能または変更	説明	参照先
名称変更	「ファブリック WAN のためのレイヤ 3 EVPN サービス」の名前が「Cisco ACI GOLF」に変更されました	<a href="#">Cisco ACI GOLF</a> と「 <a href="#">マルチポッド</a> 」の章を参照してください。

表 11: Cisco APIC Release 2.2(1n) に関して本書に記されている新機能および変更点に関する情報

機能または変更	説明	参照先
HSRP	このリリースでは、HSRP を有効にできます。これはファーストホップ冗長プロトコル (FHRP) であり、ファーストホップ IP ルータの透過的なフェールオーバーを可能にします。HSRP は、デフォルトルータの IP アドレスを指定して設定された、イーサネットネットワーク上の IP ホストにファーストホップルーティングの冗長性を提供します。ルータグループでは HSRP を使用して、アクティブルータおよびスタンバイルータを選択します。ルータグループでは、アクティブルータはパケットをルーティングするルータであり、スタンバイルータはアクティブルータに障害が発生したときや、プリセット条件に達したときに使用されるルータです。	次の章を参照してください: <a href="#">HSRP</a>

表 12: Cisco APIC Release 2.1(1h)に関連した Cisco APIC の新機能と変更された動作

機能または変更	説明	参照先
EVPN タイプ 2 ホスト ルートの配布	EVPN トポロジの最適なトラフィック転送へのサポートが追加されました。これを実現するため、ファブリックのスパインが BGP EVPN タイプ 5 (IP プレフィックス) ルートの形式のパブリック BD サブネットとともに、EVPN タイプ 2 (MAC-IP) ルートを使用するホストルートを DCIG にアダプタイズするように設定できます。	次の章を参照してください: <a href="#">Cisco ACI GOLF</a>
明示的なプレフィックスリストを使用するルートマップ	パブリックなブリッジドメイン (BD) サブネットと外部ランジットネットワークのための明示的なプレフィックスリストは、インバウンドとアウトバウンドのルート制御を可能にします。レイヤ 3 アウトのインバウンドおよびアウトバウンドルートコントロールは、ルートマップ/プロファイル (rtctrlProfile) によって管理されます。ルートマップ/プロファイルポリシーは、Cisco ACI ファブリックでレイヤ 3 アウトを完全に管理するプレフィックスリストをサポートしています。	次の章を参照してください: <a href="#">ルート制御</a>

機能または変更	説明	参照先
IP エージング ポリシー	このリリースでは、エンドポイントでの IP のための新しいエージング ポリシーを有効にできます。IP エージング ポリシーは、エンドポイント上の使用されていない IP を追跡し、その寿命を管理します。追跡は、ローカルのエンドポイントエージング間隔の 75% で、IPv4 の場合には ARP リクエスト、IPv6 の場合にはネイバー誘導を送信する、BD 用に設定されたエンドポイント保持ポリシーを使用して実行されます。IP から応答を受信しなかった場合、その IP の寿命は切れます。	次の章を参照してください: <a href="#">IP エージング</a>
IGMP スヌープ アクセスグループのサポートおよび IGMP スヌープ スタティック グループのサポート	Internet Group Management Protocol (IGMP) ネットワークトラフィックをリッスンするプロセスである IGMP スヌーピングのサポートが追加されました。この機能は、ネットワーク スイッチがホストとルータの間の対話をリッスンし、必要のないマルチキャストリンクはフィルタして、どのポートが特定のマルチキャストトラフィックを受信するかを制御できるようにします。	次の章を参照してください: <a href="#">IGMP スヌーピング</a>
multipod でのマルチキャストのサポート	multipod トポロジで IP マルチキャストのサポートが追加されました	次の章を参照してください: <a href="#">IP Multicast : IP マルチキャスト</a>

表 13: Cisco APIC Cisco APIC リリース 2.0(1m) の新機能と変更された動作

機能または変更	説明	参照先
OSPF インバウンドフィルタリングでのインポート制御ポリシーのサポート	BGP の場合と同様に、OSPF を使用したインポートおよびエクスポート制御へのサポートが追加されました。	See chapters <a href="#">外部ネットワークへのルーテッド接続</a> and <a href="#">ルート制御</a>
GOLF (ファブリック WAN 経由のレイヤ 3 EVPN サービス)	GOLF が導入されました。	次の章を参照してください: <a href="#">Cisco ACI GOLF</a>
トランジットルーティングで GOLF がサポートされました。	GOLF L3Outs と境界リーフ BGP/OSPF L3Outs がサポートされました。	次の章を参照してください: <a href="#">トランジットルーティング</a>
EIGRP インターフェイスポリシーの強化	帯域幅と遅延などの EIGRP のプロパティのサポートが追加されました。	次の章を参照してください: <a href="#">ルーティングプロトコルサポート</a>
レイヤ 3 マルチキャスト	レイヤ 3 マルチキャストが導入されました。	次の章を参照してください: <a href="#">IP Multicast : IP マルチキャスト</a>
トランジットルーティングのサブネットの集約コントロールのサポート	サブネットの範囲と集約コントロールについての新しいセクションを追加されました。	次の章を参照してください: <a href="#">トランジットルーティング</a>
Ethertype、プロトコル、L4 ポート、および TCP フラグフィルタのサポート	Ethertype、プロトコル、L4 ポート、および TCP フラグフィルタのサポートが使用可能になり、トランジットルーティング制御に使用できるようになりました。	次の章を参照してください: <a href="#">トランジットルーティング</a>

表 14: Cisco APIC Cisco APIC リリース 1.3(1g) の新機能と変更された動作

機能または変更	説明	参照先
ルート集約	オブジェクトモデル CLI の手順が削除されました。 GUI と NX-OS CLI インターフェイスの追加ルート集約手順が追加されました。	次の章を参照してください: <a href="#">ルーティングプロトコルサポート</a>

機能または変更	説明	参照先
-	オブジェクトモデル CLI の手順が削除され、NX-OS スタイル CLI の手順が追加されました。	<ul style="list-style-type: none"> <li>• この章の NX-OS スタイル CLI のトピック 次の章を参照してください: <a href="#">トランジットルーティング</a> <i>IPv6</i> とネイバー探索</li> <li>• ルート コントロールでの NX-OS スタイル CLI のトピック</li> <li>• <i>BFD</i> での <i>BGP</i> 外部ルーテッドネットワーク (ルーティング プロトコルのサポート) での NX-OS スタイル CLI のトピック</li> <li>• 次の章を参照してください: <a href="#">ルーティングプロトコルサポート</a></li> </ul>

表 15: Cisco APIC Release 1.2(x)に関連した Cisco APIC の新機能と変更された動作

機能または変更	説明	参照先
OSPF から受信し、再分配したすべてのルートへの属性設定	コミュニティ、ローカルプレフィックス、MED など、受信したすべてのルートの属性設定のサポートが追加されました。タグ、ローカルプレフィックス、コミュニティなど、再分配したすべてのルートの属性を設定します。	次の章を参照してください: <a href="#">ルーティングプロトコルサポート</a>

機能または変更	説明	参照先
OSPF、BGP、およびEIGRPのルート集約	<p>ルート集約では、ルートテーブルで多数の固有アドレスを1つのアドレスに置き換えること可能にします。たとえば、10.1.1.0/24、10.1.2.0/24、10.1.3.0/24 は 10.1.0.0/16 に置き換えられます。ルート集約ポリシーにより、ボーダリーフスイッチとそのネイバーリーフスイッチの間でルートを効率的に共有することができます。BGP、OSPF、あるいはEIGRPのルート集約ポリシーは、ブリッジドメインまたは中継サブネットに適用されます。OSPFでは、エリア間ルート集約と外部ルート集約がサポートされます。</p>	<p>次の章を参照してください: <a href="#">ルーティングプロトコルサポート</a></p>
共通パーベイシブ ゲートウェイ	<p>ブリッジ-ドメインごとにIPv4共通ゲートウェイを使用して2つのACIファブリックを設定できます。これにより、1つ以上の仮想マシン (VM) または従来のホストを、ホストがそのIPアドレスを保持したままファブリック間で移動できます。ファブリック間のVMとホストの移動は、VMハイパーバイザによって自動的に行うことができます。ACIファブリックは、同じ場所に配置することも、複数のサイト間でプロビジョニングすることもできます。ACIファブリック間のレイヤ2接続は、ローカルリンクか、ブリッジ型ネットワークにわたるものになります。</p>	<p>次の章を参照してください: <a href="#">共通パーベイシブゲートウェイ</a></p>

機能または変更	説明	参照先
着信コミュニティに基づくルートの BGP 属性の設定	BGP 属性の設定は、コミュニティ、ローカル環境設定、MED などの着信のコミュニティに基づくルートに対して有効です。	次の章を参照してください: <a href="#">ルーティング プロトコル サポート</a>
Bidirectional Forwarding Detection (BFD) : GUI、NX-OS CLI および REST API のグローバル構成 GUI、NX-OS CLI および REST API のインターフェイス構成 GUI、NX-OS CLI および REST API コンシューマ プロトコルの構成	BFD のサポートが導入されました。これにより、ピアリング ルータの接続をサポートするように設定された ACI ファブリック境界リーフ スイッチ間の転送パスのサブセカンド障害検出時間を提供します。	次の章を参照してください: <a href="#">ルーティング プロトコル サポート</a>
最大プレフィックスの制限	BGP 最大プレフィックスの制限のサポートが追加されました。	次の章を参照してください: <a href="#">ルーティング プロトコル サポート</a>
アクションルールプロファイルとピア接続プロファイルの属性設定のための BGP の強化	BGP 属性のダイナミック ネイバー、ルート ダンプニング、ウェイト属性と remove-private-as へのサポートの追加。	次の章を参照してください: <a href="#">ルーティング プロトコル サポート</a>
IPv6 のサポートとインターフェイス ポリシーの強化	IPv6 は EIGRP でサポートされます。 インターフェイス ポリシーが強化されました。既存のインターフェイス ポリシー パラメータだけでなく、帯域幅と遅延も、eigrpIfPol 属性によってインターフェイス上で制御できます。 NX OS スタイル CLI の手順が追加されました。	次の章を参照してください: <a href="#">ルーティング プロトコル サポート</a>

機能または変更	説明	参照先
外部ルータのインターリーク	OSPF から BGP へのルートのインターリークを有効にするため、属性(コミュニティ、設定、またはメトリック)を設定するためのサポートが追加されました。	次の章を参照してください: <a href="#">外部ルートのインターリーク</a>
トランジット ルーティングのサポート	ファブリックでの中継ルーティングのサポートが追加されました。	次の章を参照してください: <a href="#">トランジットルーティング</a>

表 16: Cisco APIC、リリース 1.1(x)の新機能と変更された動作

機能または変更	説明	参照先
IPv6 のサポート、直接 BGP のサポートおよびeBGPのサポート	IPv6 のサポート、直接 BGP のサポートおよびeBGPのサポートが導入されました。	次の章を参照してください: <a href="#">ルーティング プロトコル サポート</a>
テナント レイヤ 3 外部ネットワーク	テナント レイヤ 3 外部ネットワークに付いての記述が追加されました。	次の章を参照してください: <a href="#">外部ネットワークへのルーテッド接続</a>

## 表記法

コマンドの説明には、次のような表記法が使用されます。

表記法	説明
<b>bold</b>	太字の文字は、表示どおりにユーザが入力するコマンドおよびキーワードです。
<i>italic</i>	イタリック体の文字は、ユーザが値を入力する引数です。
[x]	省略可能な要素（キーワードまたは引数）は、角かっこで囲んで示しています。
[x   y]	いずれか1つを選択できる省略可能なキーワードや引数は、角カッコで囲み、縦棒で区切って示しています。
{x   y}	必ずいずれか1つを選択しなければならない必須キーワードや引数は、波かっこで囲み、縦棒で区切って示しています。



表記法	説明
[x {y z}]	角かっこまたは波かっこが入れ子になっている箇所は、任意または必須の要素内の任意または必須の選択肢であることを表します。角かっこ内の波かっこと縦棒は、省略可能な要素内で選択すべき必須の要素を示しています。
variable	ユーザが値を入力する変数であることを表します。イタリック体が使用できない場合に使用されます。
string	引用符を付けない一組の文字。string の前後には引用符を使用しません。引用符を使用すると、その引用符も含めて string とみなされます。

例では、次の表記法を使用しています。

表記法	説明
screen フォント	スイッチが表示する端末セッションおよび情報は、スクリーンフォントで示しています。
太字の screen フォント	ユーザが入力しなければならない情報は、太字のスクリーンフォントで示しています。
イタリック体の screen フォント	ユーザが値を指定する引数は、イタリック体のスクリーンフォントで示しています。
<>	パスワードのように出力されない文字は、山カッコ (<>) で囲んで示しています。
[]	システム プロンプトに対するデフォルトの応答は、角カッコで囲んで示しています。
!、#	コードの先頭に感嘆符 (!) またはポンド記号 (#) がある場合には、コメント行であることを示します。

このマニュアルでは、次の表記法を使用しています。



(注) 「注釈」です。役立つ情報やこのマニュアルに記載されていない参照資料を紹介しています。



注意 「要注意」の意味です。機器の損傷またはデータ損失を予防するための注意事項が記述されています。

**警告** 安全上の重要な注意事項

「危険」の意味です。人身事故を予防するための注意事項が記述されています。機器の取り扱い作業を行うときは、電気回路の危険性に注意し、一般的な事故防止対策に留意してください。Use the statement number provided at the end of each warning to locate its translation in the translated safety warnings that accompanied this device.

これらの注意事項を保存しておいてください

## 関連資料

**Application Policy Infrastructure Controller (APIC) のマニュアル**

次のガイドでは、APIC のドキュメントを提供します。

- 『Cisco APIC Getting Started Guide』
- 『Cisco APIC Basic Configuration Guide』
- Cisco ACI の基礎
- Cisco APIC レイヤ 2 ネットワーク設定ガイド
- Cisco APIC Layer 3 ネットワーキング設定ガイド
- 『Cisco APIC NX-OS Style Command-Line Interface Configuration Guide』
- Cisco APIC REST API 設定ガイド
- 『Cisco APIC レイヤ 4～レイヤ 7 サービス導入ガイド』
- 『Cisco ACI Virtualization Guide』
- Cisco アプリケーション セントリック インフラストラクチャ：ベストプラクティス ガイド

これらすべてのドキュメントは、次の URL で入手できます。<http://www.cisco.com/c/en/us/support/cloud-systems-management/application-policy-infrastructure-controller-apic/tsd-products-support-series-home.html>

**シスコ アプリケーション セントリック インフラストラクチャ (ACI) のマニュアル**

ACI の各種マニュアルは、次の URL から入手できます。<http://www.cisco.com/c/en/us/support/cloud-systems-management/application-policy-infrastructure-controller-apic/tsd-products-support-series-home.html>

### シスコアプリケーションセントリックインフラストラクチャ (ACI) シミュレータのマニュアル

Cisco ACI Simulator のマニュアルは、次の URL から入手できます：<http://www.cisco.com/c/en/us/support/cloud-systems-management/application-centric-infrastructure-simulator/tsd-products-support-series-home.html>

### Cisco Nexus 9000 シリーズ スイッチのマニュアル

Cisco Nexus 9000 シリーズ スイッチのマニュアルは、次の URL で入手できます。<http://www.cisco.com/c/en/us/support/switches/nexus-9000-series-switches/tsd-products-support-series-home.html>

### Cisco Application Virtual Switch のマニュアル

Cisco Application Virtual Switch (AVS) のマニュアルは、次の URL で入手できます。<http://www.cisco.com/c/en/us/support/switches/application-virtual-switch/tsd-products-support-series-home.html>

### シスコアプリケーションセントリックインフラストラクチャ (ACI) と OpenStack の統合に関するマニュアル

Cisco ACI と OpenStack の統合に関するマニュアルは、次の URL から入手できます。<http://www.cisco.com/c/en/us/support/cloud-systems-management/application-policy-infrastructure-controller-apic/tsd-products-support-series-home.html>

## マニュアルに関するフィードバック

このマニュアルに関する技術的なフィードバック、または誤りや記載もれなどお気づきの点がございましたら、[apic-docfeedback@cisco.com](mailto:apic-docfeedback@cisco.com) までご連絡ください。ご協力をよろしくお願いたします。

